

防災カルテ：見沼区版

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域のみなさんと話し合ってみましょう。

さいたま市防災カルテ

見沼区

①区の概況と課題

◆区の概要

【位置】さいたま市の北部中央部に位置し、上尾市と隣接。
【地形】西部を南下する東へ道路を交える芝川と、東部を南下する見沼用水車橋に囲まれた台地上にほとんどが属する。
【土地利用】区の西から南、東を横切るように見沼田舎が広がり、北部は高層住宅街などの市街地が広がる。
【交通】東武野田線や東北本線が走っており、区の北東部に国道16号がある。

◆全体図

◆防災関連施設情報(区内施設数) (平成26年2月時点)

避難場所	24ヶ所	消防署・出張所	3ヶ所	市役所・区役所	5ヶ所
一時避難場所	12ヶ所	警察署・交番	6ヶ所	支所・市民の窓口	
広域避難場所	0ヶ所	救急病院	2ヶ所	応急給水場所	13ヶ所

◆区内被害想定結果

項目	さいたま市直下地震	関東甲府北西陸部帯逆断	東京湾北部地震
最大震度	6強 (6.1)	6強 (6.1)	6強 (6.7)
震小震度	6弱 (5.7)	5強 (5.4)	5強 (5.0)
死者	64人	57人	0人
負傷者	747人	653人	42人
避難者	6,913人	6,578人	233人
全壊建物棟数	1,927棟	1,811棟	14棟
うち倒壊棟数	817棟	904棟	4棟
半壊建物棟数	5,967棟	5,189棟	612棟

◆さいたま市直下地震と芝川・新芝川水害の被害想定結果

地震	水害									
	荒川	利根川	江戸川	芝川等	綾瀬川等	鴨川等	大宮川等	荒川	利根川	江戸川
最大震度	6弱 (5.9)	6強 (6.0)	6強 (6.0)	6強 (6.1)	6強 (6.1)	6強 (5.9)	6強 (6.0)	6強 (6.0)	6強 (6.1)	6強 (6.1)
震小震度	6弱 (5.7)	6弱 (5.8)	6弱 (5.7)	6弱 (5.7)	6弱 (5.8)	6弱 (5.7)	6弱 (5.7)	6弱 (5.7)	6弱 (5.7)	6弱 (5.8)
死者(人)	13	9	3	7	4	4	12	4	6	10
負傷者(人)	95	100	42	95	61	59	145	48	75	111
避難者(人)	1,166	761	349	937	439	527	919	482	699	1,625
全壊建物棟数(棟)	322	220	77	280	116	134	313	99	148	473
うち倒壊棟数(棟)	208	72	23	149	32	49	61	28	42	261
半壊建物棟数(棟)	706	801	367	805	521	480	1,130	383	598	874

◆被害想定結果からわかる防災上の主なポイント

【水害】地域に水害(荒川・芝川・加田田川)の危険性が高いエリアがあり、迅速な情報伝達体制や、自主防災組織等による安全な避難体制の構築が重要。
【避難者】高齢者が多く、地域で協力した避難行動・救助活動が必要。
【避難】幹線街が多い地区があるため、避難ルートの確保が必要。

◆区内人口・建物概況

(人口:平成22年国勢調査)
(建物:平成23年度さいたま市都市計画調査)

総人口	157,143人
0-14歳	21,657人 (14%)
15-64歳	102,366人 (65%)
65歳以上	33,120人 (21%)
人口密度	5,134人/km ²
世帯数	61,585世帯

◆学区別人口・建物概況

(人口:平成22年国勢調査)
(建物:平成23年度さいたま市都市計画調査)

学区名	人口	建物棟数
大宮土中学校区	20,982人	7,312棟
大宮川中学校区	16,877人	6,628棟
香野中学校区	18,294人	4,249棟
香里中学校区	21,416人	7,291棟
七里中学校区	12,679人	3,889棟
大谷中学校区	12,128人	3,816棟
片柳中学校区	17,090人	7,129棟
栗平中学校区	15,488人	3,789棟
土呂中学校区	32,560人	5,987棟
第二東中学校区	20,007人	5,773棟

04-1

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域のみなさんと話し合ってみましょう。

さいたま市防災カルテ

見沼区

②さいたま市直下地震の想定

震度分布図

液状化危険度分布図

建物被害分布図(揺れによる被害)

建物被害分布図(火災延焼による被害)

(※分布図は50mメッシュ単位での表示となっています) 04-2

防災カルテ：中央区版

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話し合ってみましょう。

①区の概況と課題

さいたま市防災カルテ

中央区



◆区の概要

【位置】さいたま市のほぼ中央西寄り。
【地形】区域の大部分は関東ローム層が覆う大宮台地上。区のほぼ中央を流れる鴻沼川沿い一体は谷地帯。
【土地利用】農地はさわめて少なく、鴻沼川両側は市街化調整区域。
【交通】京浜東北線・埼京線が走り、区の両側に国道463号、栗原には旧中山道が走っている。

◆全体図



◆防災関連施設情報(区内施設数) (平成26年2月時点)

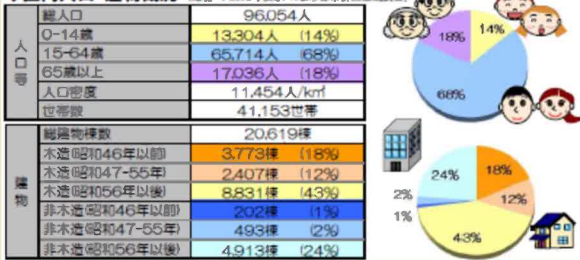
避難場所	20ヶ所	消防署・出張所	1ヶ所	市役所・区役所	1ヶ所
一時避難場所	6ヶ所	警察署・交番	4ヶ所	支所・市民の窓口	
広域避難場所	0ヶ所	救急病院	1ヶ所	緊急給水場所	11ヶ所

◆区内被害想定結果

項目	さいたま市直下地震	関東平野北西縁部震害想定	東京湾北部地震
最大震度	6強 (6.3)	6強 (6.1)	6弱 (5.8)
最大震度	6弱 (5.9)	6弱 (5.5)	5強 (5.2)
死者	210人	24人	2人
負傷者	591人	200人	57人
避難者	16,131人	2,761人	611人
全壊建物棟数	4,798棟	627棟	65棟
うち倒壊棟数	3,379棟	344棟	24棟
半壊建物棟数	3,879棟	2,064棟	989棟
床上浸水建物棟数	598棟	0棟	0棟
床下浸水建物棟数	918棟	0棟	0棟

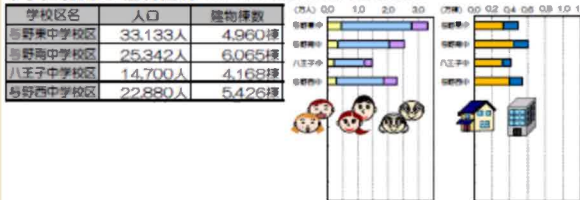
◆区内人口・建物概況

(人口：平成22年国勢調査)
(建物：平成23年国勢調査・埼玉県都市計画課調査)



◆学区別人口・建物概況

(人口：平成22年国勢調査)
(建物：平成23年国勢調査・埼玉県都市計画課調査)



◆さいたま市直下地震と鴻川・鴻沼川水害の被害想定結果

項目	さいたま市直下地震	鴻川	鴻沼川	江戸川	羽川	波島川	鴻川
最大震度	6強 (6.3)	6強 (6.3)	6強 (6.2)	6強 (6.2)	6強 (6.2)	6強 (6.2)	6強 (6.2)
最大震度	6弱 (5.9)	6弱 (6.0)	6弱 (5.9)	6弱 (5.9)	6弱 (5.9)	6弱 (5.9)	6弱 (5.9)
死者(人)	30	55	34	91			
負傷者(人)	122	173	106	190			
避難者(人)	2,447	3,849	3,884	5,950			
全壊建物棟数(棟)	591	1,136	1,268	1,804			
うち倒壊棟数(棟)	298	654	1,003	1,424			
半壊建物棟数(棟)	894	1,135	790	1,060			
床上浸水建物棟数(棟)	231	1,171	221	387			
床下浸水建物棟数(棟)	632	476	390	429			

◆被害想定結果からわかる防災上の主なポイント

【耐震化】多くの建物被害が想定されているため、**耐震化の向上が必須**。
【火災】地域で火災被害の危険性が高いエリアがあり、隣接する区においても多くの火災被害が想定されているため、延焼防止帯の設置や建物の不燃化等、**延焼防止帯が必須**。
【水害】地域で水害(荒川・鴻沼川)の危険性が高いエリアがあり、迅速な情報伝達体制や、自主防災組織等による**安全な避難体制の構築が必須**。
【帰宅困難】JR埼京線・京浜東北線の駅周辺で、**帰宅困難者の発生・滞留**が想定される。

05-1

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話し合ってみましょう。

②さいたま市直下地震の想定

さいたま市防災カルテ

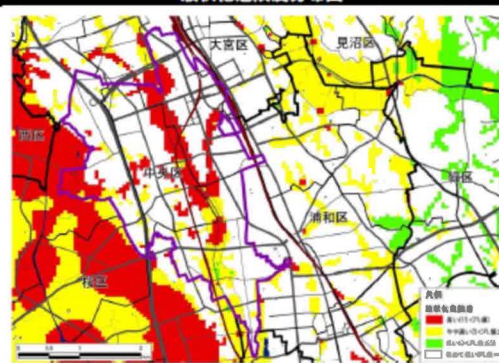
中央区



震度分布図



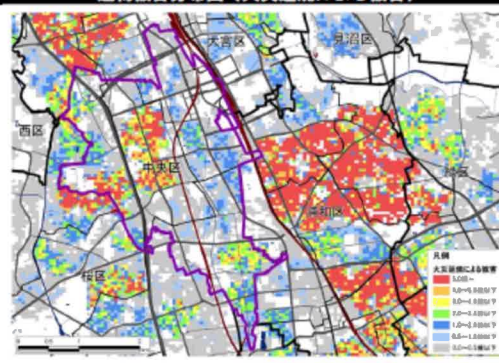
液状化危険度分布図



建物被害分布図(揺れによる被害)



建物被害分布図(火災延焼による被害)



(※分布図は50mマッシュ単位での表示となっています) 05-2

防災カルテ：桜区版

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話し合ってみましょう。

さいたま市防災カルテ

①区の概況と課題
桜区

◆区の概要

【位置】さいたま市の西部に位置し、富士見市と志木市に隣接。
【地形】都市化が進んださいたま市の中では田舎的な面影を残す。
【土地利用】東部や西部には市街地、国道17号新大宮バイパス沿いに流通業施設や工場が立地。
【交通】区内の幹線道路は、東西方向に国道463号、南側部にはJR武蔵野線西浦和駅がある。

◆全体図

◆防災関連施設情報(区内施設数)

避難場所	19ヶ所	消防署・出張所	3ヶ所	市庁舎・区役所	4ヶ所
一階避難場所	2ヶ所	警察署・交番	4ヶ所	支所・市民の森	1ヶ所
広域避難場所	0ヶ所	緊急病院	2ヶ所	応急給水場所	8ヶ所

◆区内人口・建物概況

(人口：平成22年国勢調査)
(建物：平成23年度さいたま市都市計画基礎調査)

総人口	96,911人
0-14歳	12,911人 (13%)
15-64歳	66,814人 (69%)
65歳以上	17,186人 (18%)
人口密度	5,195人/km ²
世帯数	42,442世帯

総建物棟数	24,982棟
木造(昭和46年以前)	3,667棟 (15%)
木造(昭和47-55年)	3,944棟 (16%)
木造(昭和56年以前)	10,581棟 (42%)
非木造(昭和46年以前)	3,757棟 (15%)
非木造(昭和47-55年)	668棟 (3%)
非木造(昭和56年以後)	5,747棟 (23%)

◆学区別人口・建物概況

(人口：平成22年国勢調査)
(建物：平成23年度さいたま市都市計画基礎調査)

学校区名	人口	建物棟数
田島中学校区	33,020人	7,569棟
土合中学校区	35,729人	8,125棟
上大久保中学校区	24,361人	6,163棟
大久保中学校区	16,202人	6,296棟

◆区内被想定結果

地震	さいたま市直下地震	関東平野北西縁新巻帯地震	東京湾北部地震
最大震度	6強 (6.3)	6強 (6.1)	6強 (6.1)
最大震度	6強 (6.0)	6弱 (5.9)	5強 (5.3)
死者	163人	40人	10人
負傷者	778人	396人	174人
避難者	22,698人	5,930人	2,757人
全壊建物棟数	5,591棟	1,502棟	380棟
うち倒壊棟数	2,863棟	812棟	122棟
半壊建物棟数	6,517棟	3,892棟	3,739棟

◆さいたま市直下地震と荒川水害の被害想定結果

地震	田島中学校区	土合中学校区	上大久保中学校区	大久保中学校区
最大震度	6強 (6.3)	6強 (6.3)	6強 (6.2)	6強 (6.3)
最大震度	6強 (6.1)	6中 (6.0)	6中 (6.0)	6中 (6.0)
死者(人)	48	53	45	37
負傷者(人)	250	249	186	185
避難者(人)	7,181	6,735	6,340	5,383
全壊建物棟数(棟)	1,622	1,493	1,524	1,611
うち倒壊棟数(棟)	677	610	933	911
半壊建物棟数(棟)	2,135	1,959	1,592	1,758

◆被害想定結果からわかる防災上の主なポイント

【耐震化】多くの建物被害が想定されているため、**耐震化率の向上が必要**。
【水害】水害(荒川・糠川・鴻巣川等)の危険性が高い地区となっており、迅速な情報伝達体制や、自主防災組織等による**安全な避難体制の構築が必要**。
【避難】水害によって多くの地域が浸水する恐れがあることから、**避難場所の増設が必要**。

06-1

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話し合ってみましょう。

さいたま市防災カルテ

②さいたま市直下地震の想定
桜区

震度分布図

液状化危険度分布図

建物被害分布図(揺れによる被害)

建物被害分布図(火災延焼による被害)

(※分布図は50mメッシュ単位での表示となっています) 06-2

防災カルテ：浦和区版

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域のの方々と話し合ってみましょう。

さいたま市防災カルテ

①区の概況と課題

◆区の概要

【位置】さいたま市の中南部に位置する。
【地形】大宮台地上にある。区北部の見沼区との境に芝川が流れている。
【土地利用】JR線沿線を境に西側にはオフィス街、東側には住宅街が広がる。
【交通】南北に国道17号、旧中山道などがあり、東西に国道463号が伸び、JR線の3駅がある。

◆区内人口・建物概況

(人口：平成22年国勢調査)
(建物：平成23年度さいたま市都市計画課調査)

総人口	144,786人
0-14歳	19,717人 (14%)
15-64歳	98,225人 (68%)
65歳以上	26,844人 (19%)
人口密度	12,551人/km ²
世帯数	61,994世帯

人口ピラミッド：0-14歳 14%、15-64歳 68%、65歳以上 19%

総建物棟数	33,132棟
木造昭和46年以前	5,821棟 (18%)
木造昭和47-55年	3,688棟 (11%)
木造昭和56年以後	14,164棟 (43%)
非木造昭和46年以前	370棟 (1%)
非木造昭和47-55年	1,081棟 (3%)
非木造昭和56年以後	8,008棟 (24%)

建物ピラミッド：木造昭和56年以後 43%、非木造昭和56年以後 24%、木造昭和47-55年 11%、木造昭和46年以前 18%、非木造昭和47-55年 3%、非木造昭和46年以前 1%

◆学区別人口・建物概況

(人口：平成23年度国勢調査)
(建物：平成23年度さいたま市都市計画課調査)

学区名	人口	建物棟数
大宮中学校区	28,031人	6,280棟
本郷中学校区	28,829人	8,410棟
本太中学校区	29,992人	7,315棟
舞臺中学校区	30,358人	4,739棟
白鶴中学校区	32,193人	6,606棟
岸中学校区	27,434人	5,803棟
原山中学校区	28,600人	7,457棟

◆防災関連施設情報(区内施設数)

(平成26年2月時点)

避難場所	34ヶ所	消防署・出張所	3ヶ所	市役所・区役所	5ヶ所
一歩避難場所	7ヶ所	警察署・交番	7ヶ所	支所・出張の窓口	
広域避難場所	0ヶ所	緊急病院	3ヶ所	緊急給水場所	12ヶ所

◆区内被害想定結果

指標	さいたま市直下地震	関東平野北西縁新巻帯地震	東京湾北部地震
最大震度	6強 (6.3)	6弱 (5.9)	6強 (6.0)
最大震度	6弱 (5.9)	5強 (5.4)	5強 (5.2)
死者	676人	52人	26人
負傷者	1,376人	236人	188人
避難者	56,905人	5,442人	2,757人
全壊建物棟数	17,600棟	1,531棟	652棟
半壊建物棟数	15,328棟	1,400棟	520棟
床上浸水建物棟数	5,605棟	1,663棟	1,723棟
床上浸水建物棟数	0棟	0棟	0棟
床上浸水建物棟数	0棟	0棟	311棟
床上浸水建物棟数	0棟	0棟	0棟

◆さいたま市直下地震と芝川・新芝川水害の被害想定結果

指標	大宮中学校区	本郷中学校区	本太中学校区	舞臺中学校区	白鶴中学校区	岸中学校区	原山中学校区
最大震度	6強 (6.1)	6強 (6.1)	6強 (6.2)	6強 (6.2)	6強 (6.3)	6強 (6.3)	6強 (6.2)
最大震度	6弱 (5.9)	6弱 (5.9)	6弱 (6.0)	6弱 (6.0)	6強 (6.0)	6強 (6.0)	6強 (6.0)
死者(人)	99	184	222	29	71	105	157
負傷者(人)	224	322	389	139	222	235	321
避難者(人)	11,832	21,221	13,738	2,399	6,145	7,386	10,180
全壊建物棟数(棟)	3,586	6,977	4,247	549	1,361	1,987	3,208
半壊建物棟数(棟)	3,230	6,538	3,642	248	816	1,520	2,656
床上浸水建物棟数(棟)	1,085	1,347	1,328	719	1,190	1,016	1,283
床上浸水建物棟数(棟)	465	19	0	0	0	0	169
床上浸水建物棟数(棟)	69	20	0	0	0	0	255

◆被害想定結果からわかる防災上の主なポイント

- 【耐震化】多くの建物被害が想定されているため、**耐震化率の向上が必要**。
- 【火災】火災損失の危険性が高い地区となっており、延焼防止帯の設置や建物の不燃化等、**延焼防止策が必要**。
- 【避難】避難者の割合が高いため、**避難場所の確保及び避難体制の確保が必要**。
- 【帰宅困難】海和駅周辺において、**帰宅困難者の発生・滞留が想定される**。

07-1

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域のの方々と話し合ってみましょう。

さいたま市防災カルテ

②さいたま市直下地震の想定

震度分布図

建物被害分布図(揺れによる被害)

液状化危険度分布図

建物被害分布図(火災延焼による被害)

(※分布図は50mメッシュ単位での表示となっています) 07-2

防災カルテ：南区版

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話し合ってみましょう。

さいたま市防災カルテ 南区

①区の概況と課題

◆区の概要

【位置】さいたま市の西側に位置し、戸田市・原市に隣接。
【地形】東部を中心に農耕地、社寺林や斜面林が点在。
【土地利用】都市型住宅と商業、業務機能の集積を目指して大規模な市街地再開発事業を実施中。
【交通】JR埼京線・京浜東北線・武蔵野線が走り、国道17号などが走る。

◆全体図

◆防災関連施設情報(区内施設数) (平成26年2月時点)

避難場所	31ヶ所	消防署・出張所	2ヶ所	消防所・区役所	3ヶ所
一時避難場所	4ヶ所	警察署・交番	4ヶ所	消防・市民の窓口	
広域避難場所	0ヶ所	緊急病院	1ヶ所	応急給水場	12ヶ所

◆区内人口・建物概況 (人口：平成22年国勢調査 (建物：平成23年度さいたま市都市計画基礎調査))

総人口	174,988人
0-14歳	25,008人 (14%)
15-64歳	122,300人 (70%)
65歳以上	27,680人 (16%)
人口密度	12,561人/kmf
世帯数	74,885世帯

総建物棟数	35,860棟
木造(昭和46年以前)	5,142棟 (14%)
木造(昭和47-55年)	4,626棟 (13%)
木造(昭和56年以後)	15,893棟 (44%)
非木造(昭和46年以前)	323棟 (1%)
非木造(昭和47-55年)	959棟 (3%)
非木造(昭和56年以後)	8,917棟 (25%)

◆学区別人口・建物概況 (人口：平成22年国勢調査 (建物：平成23年度さいたま市都市計画基礎調査))

学区区名	人口	建物棟数
白鷺中学校区	32,193人	6,606棟
南中学校区	27,434人	5,803棟
大谷中学校区	27,901人	6,161棟
大谷中学校区	25,475人	7,666棟
南中学校区	29,171人	5,597棟
内谷中学校区	43,408人	6,106棟
田島中学校区	33,020人	7,569棟

◆さいたま市直下地震と荒川水害の被害想定結果

被害種別	白鷺中学校区	南中学校区	大谷中学校区	大谷中学校区	南中学校区	内谷中学校区	田島中学校区
最大震度	6強 (6.3)	6強 (6.3)	6強 (6.3)	6強 (6.3)	6強 (6.3)	6強 (6.3)	6強 (6.3)
最大震度	6強 (6.0)	6強 (6.0)	6強 (6.0)	6強 (5.9)	6強 (6.0)	6強 (6.1)	6強 (6.1)
死者(人)	71	105	51	44	26	30	48
負傷者(人)	222	235	175	166	154	179	250
避難者(人)	6,145	7,386	7,629	6,167	6,378	6,380	7,181
全壊建物棟数(棟)	1,361	1,987	2,037	1,826	978	828	1,622
うち倒壊棟数(棟)	816	1,520	1,537	1,334	428	202	677
半壊建物棟数(棟)	1,190	1,016	1,123	1,327	1,214	1,495	2,135
床上浸水建物棟数(棟)	1,258	834	284	0	5,436	6,106	7,544
床下浸水建物棟数(棟)	923	144	117	628	161	0	0

◆被害想定結果からわかる防災上の主なポイント

【耐震化】多くの建物被害が想定されているため、**耐震化率の向上が必要**。
 【水害】水害(荒川・浦台・荒川・荒川)の危険性が高い地区となっており、迅速な情報伝達体制や、自主防災組織等による**安全な避難体制の構築が必要**。
 【避難】水害時における**避難場所・避難ルートの確保が必要**。
 【帰宅困難】武蔵浦和駅・南浦和駅周辺において、**帰宅困難者の発生・滞留**が想定される。

08-1

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話し合ってみましょう。

さいたま市防災カルテ 南区

②さいたま市直下地震の想定

震度分布図

液状化危険度分布図

建物被害分布図(揺れによる被害)

建物被害分布図(火災延焼による被害)

(※分布図は50mメッシュ単位での表示となっています) 08-2

防災カルテ：緑区版

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域のの方々と話し合ってみましょう。

さいたま市防災カルテ 緑区

① 区の概況と課題

◆ 区の概要

【位置】さいたま市の南東部に位置し、越谷市・川口市に隣接。
【地形】中央部に広がる見沼田圃を中心に緑地が広がり、芝川や綾瀬川、見沼代用水などが流れている。
【土地利用】埼玉高速鉄道や道路交通網と共に市街地が整備されている。
【交通】JR武蔵野線と埼玉高速鉄道が走り、南北を結ぶ国道122号や第2産業道路等がある。

◆ 全体図

◆ 防災関連施設情報(区内施設数) (平成26年2月時点)

避難所	24ヶ所	消防署・出張所	2ヶ所	消防所・区役所	6ヶ所
一歩避難場所	5ヶ所	警備署・交番	6ヶ所	赤十字・市民の窓口	6ヶ所
広域避難場所	0ヶ所	救急病院	3ヶ所	緊急給水場所	11ヶ所

◆ 区内人口・建物概況 (人口：平成22年国勢調査) (建物：平成23年度さいたま市都市計画基礎調査)

総人口	110,118人
0-14歳	16,883人 (15%)
15-64歳	72,993人 (66%)
65歳以上	20,242人 (18%)
人口密度	4,145人/km ²
世帯数	40,862世帯

総建物数	34,446棟
木造(昭和46年以前)	4,689棟 (14%)
木造(昭和47-55年)	4,026棟 (12%)
木造(昭和56年以後)	18,116棟 (53%)
非木造(昭和46年以前)	212棟 (1%)
非木造(昭和47-55年)	613棟 (2%)
非木造(昭和56年以後)	6,790棟 (20%)

◆ 学区別人口・建物概況 (人口：平成22年国勢調査) (建物：平成23年度さいたま市都市計画基礎調査)

学区区名	人口	建物数
栄南中学校区	16,688人	7,433棟
徳山中学校区	28,600人	7,457棟
東浦和中学校区	19,827人	6,689棟
三宮中学校区	27,358人	9,356棟
尾崎木中学校区	22,825人	4,649棟
永沼中学校区	28,829人	8,410棟

◆ さいたま市直下地震と荒川水害の被害想定結果

被害種別	栄南中学校区	徳山中学校区	東浦和中学校区	三宮中学校区	尾崎木中学校区	永沼中学校区
最大震度	6強 (6.1)	6強 (6.2)	6強 (6.2)	6強 (6.2)	6強 (6.2)	6強 (6.1)
最大震度	6弱 (5.7)	6弱 (6.0)	6弱 (5.8)	6弱 (5.9)	6弱 (5.9)	6弱 (5.9)
死者(人)	9	157	23	16	9	184
負傷者(人)	118	321	138	144	85	322
避難者(人)	1,068	10,180	2,802	3,572	1,513	21,221
全壊建物数(棟)	223	3,208	830	1,108	326	6,977
半壊建物数(棟)	31	2,656	546	843	152	6,538
非壊建物数(棟)	911	1,283	982	1,044	624	1,347
床上浸水建物数(棟)	1,060	0	0	0	26	0
床下浸水建物数(棟)	200	0	0	0	761	0

◆ 被害想定結果からわかる防災上の主なポイント

【耐震化】古い木造建物が多い地区があり、**耐震化の向上が必要**。
 【避難】区の中央部にある見沼田圃で東西が分かれ、かつ中学校区間で避難者のばらつきが大きいので、**避難場所への誘導方法の検討が必要**。
 【水害】荒川から距離は離れているが、上流部が破堤した場合は浸水する可能性があるため、迅速な情報伝達体制や、自主防災組織等による**安全な避難体制の構築が必要**。
 【帰宅困難】浦和栄南駅周辺において、**帰宅困難者の発生・滞留が想定される**。

09-1

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域のの方々と話し合ってみましょう。

さいたま市防災カルテ 緑区

② さいたま市直下地震の想定

震度分布図

液状化危険度分布図

建物被害分布図(揺れによる被害)

建物被害分布図(火災延焼による被害)

(※分布図は50mメッシュ単位での表示となっています) 09-2

防災カルテ：岩槻区版

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方と話し合ってみましょう。

①区の概況と課題

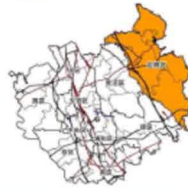
さいたま市防災カルテ

岩槻区

◆区の概要

【位置】さいたま市の東部に位置し、春日部市・川口市等5市と隣接。
【地形】緩やかに起伏した台地で、元荒川の水辺など、豊かな自然環境に恵む。
【土地利用】市街化区域がコンパクトにまとまっており、広域幹線道路沿道を中心に製造業・流通サービス業が繁華。
【交通】東武野田線が走り、国道16号、国道122号、東北自動車道が走っている。

◆全体図



◆防災関連施設情報(区内施設数) (平成26年2月時点)

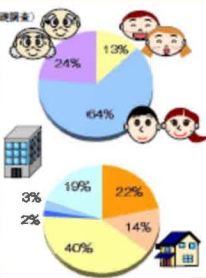
避難場所	35ヶ所	消防署・出張所	4ヶ所	市役所・区役所	3ヶ所
防災避難所	4ヶ所	警察署・交番	5ヶ所	支所・市民の窓口	
広域避難場所	0ヶ所	救急病院	3ヶ所	応急給水場所	10ヶ所

◆区内被害想定結果

被害	さいたま市直下地震	関東平野沿河川西端部等地震	東京湾北部地震
最大震度	6強 (6.1)	6強 (6.2)	6弱 (5.9)
最大員数	6弱 (5.9)	5強 (5.3)	5弱 (4.9)
死者	34人	32人	1人
負傷者	662人	601人	77人
避難者	10,955人	11,103人	798人
全壊建物棟数	968棟	1,037棟	47棟
半壊建物棟数	246棟	377棟	3棟
半壊建物棟数(水)	5,322棟	4,726棟	1,230棟
床上浸水建物棟数	7,597棟	2,193棟	0棟
床下浸水建物棟数	7,078棟	9,614棟	76棟

◆区内人口・建物概況 (人口:平成22年国勢調査)

総人口	111,286人
0-14歳	14,403人 (13%)
15-64歳	70,711人 (64%)
65歳以上	26,172人 (24%)
人口密度	2,261人/km ²
世帯数	41,942世帯



◆建物

総建物棟数	48,768棟
木造(昭和46年以前)	10,586棟 (22%)
木造(昭和47-55年)	6,706棟 (14%)
木造(昭和56年以後)	19,693棟 (40%)
非木造(昭和46年以前)	865棟 (2%)
非木造(昭和47-55年)	1,529棟 (3%)
非木造(昭和56年以後)	9,389棟 (19%)

◆学区別人口・建物概況 (人口:平成22年国勢調査)

学校区名	人口	建物棟数
慈徳中学校区	11,326人	6,512棟
塚山中学校区	9,350人	2,195棟
城北中学校区	22,539人	9,048棟
城南中学校区	10,925人	7,851棟
川瀬中学校区	11,909人	5,041棟
岩槻中学校区	18,076人	7,342棟
粕原中学校区	13,398人	6,953棟
西原中学校区	13,764人	3,826棟

◆さいたま市直下地震と荒川水害の被害想定結果

被害	地震							
	さいたま市直下	関東平野沿河川西端部	関東平野沿河川東端部	関東平野沿河川中部	関東平野沿河川東部	関東平野沿河川西部	関東平野沿河川南部	関東平野沿河川北部
最大震度	6強 (5.8)	6強 (6.0)	6弱 (5.9)	6強 (6.1)	6強 (6.0)	6弱 (5.9)	6強 (6.1)	6強 (6.1)
最大員数	6弱 (5.5)	6弱 (5.5)	6弱 (5.6)	6弱 (5.5)	6弱 (5.5)	6弱 (5.6)	6弱 (5.6)	6弱 (5.6)
死者(人)	2	1	5	10	6	4	4	3
負傷者(人)	58	20	103	153	89	91	91	57
避難者(人)	932	783	2,171	1,248	1,270	1,924	1,262	1,366
全壊建物棟数(棟)	39	19	175	206	127	204	103	95
半壊建物棟数(棟)	4	1	77	5	3	120	12	24
床上浸水建物棟数(棟)	455	172	880	1,139	764	746	706	459
床下浸水建物棟数(棟)	294	197	2,000	1,191	1,827	885	961	242

◆被害想定結果からわかる防災上の主なポイント

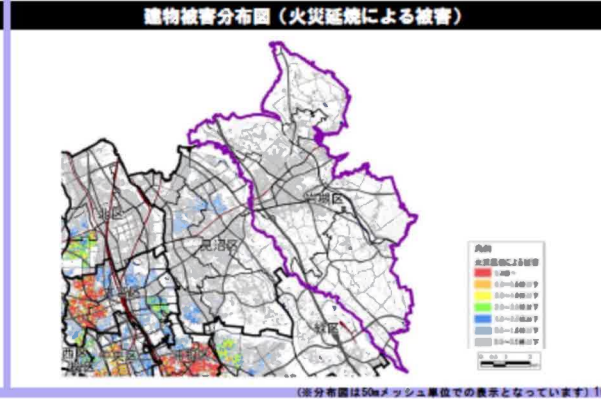
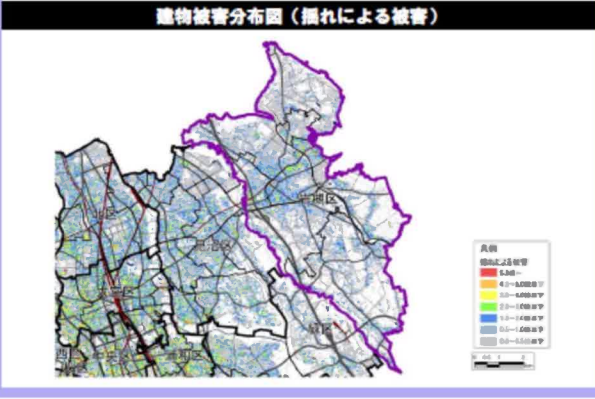
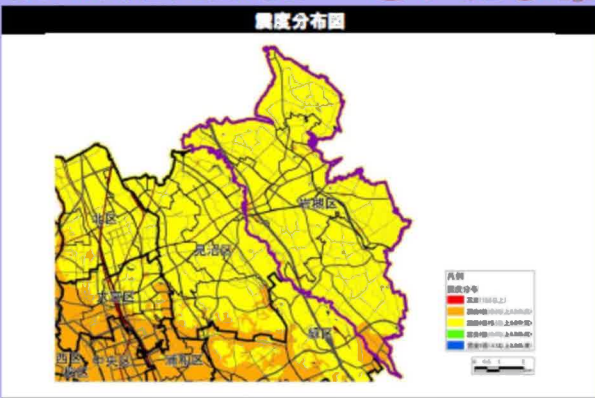
【耐震化】いわゆる旧耐震基準の古い木造建物が多いため、耐震化率の向上が必要。
【避難者】高齢者が多く、地域で強力な避難行動・救助活動が必要。
【水害】水害(荒川・利根川・荒川等)の危険性が高い地区となっており、迅速な情報伝達体制や、自主防災組織等による安全な避難体制の構築が必要。

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方と話し合ってみましょう。

②さいたま市直下地震の想定

さいたま市防災カルテ

岩槻区



(※分布図は50mメッシュ単位での表示となっています) 10-2

防災カルテ：(一例) 与野西中学校区版

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話し合ってみましょう。

さいたま市防災カルテ 与野西中学校区

①学区の概況と課題

◆学区の概要

【位置】中央区の中央部に位置し、大宮区と隣接している。
【土地利用】学区内には住宅地が広がっており、東部に区役所と消防署、南部に保健所と警察署がある。
【交通】学区の西部には首都高速埼玉大宮線、東部にはJR埼京線が走っている。

◆学区の位置

◆学区内被害想定結果

種別	さいたま市區下地震	関東平野北西沖断層帯地震	東京湾北側地震			
最大震度	6強 (6.2)	6強 (5.9)	6強 (5.7)			
震小震度	6強 (5.9)	6強 (5.6)	5強 (5.2)			
死者	91人 (0.49%)	9人 (0.09%)	0人 (0.0%)			
負傷者	190人 (0.8%)	58人 (0.3%)	13人 (0.1%)			
避難者	5,950人 (26.0%)	779人 (3.4%)	127人 (0.6%)			
全壊建物棟数	1,804棟 (33.2%)	179棟 (3.3%)	9棟 (0.2%)			
半壊建物棟数	1,424棟 (26.2%)	97棟 (1.8%)	0棟 (0.0%)			
半壊建物棟数	1,060棟 (19.5%)	612棟 (11.3%)	270棟 (5.0%)			
水害	荒川	利根川	江戸川	荒川等	荒川等	荒川等
床上浸水建物棟数	0棟	0棟	0棟	0棟	0棟	387棟
床上浸水建物棟数	5棟	0棟	0棟	0棟	0棟	429棟

※震度のカッコ内は計測震度を、それ以外のカッコ内は学区内の比率を示す。

◆人口概況 (平成22年国勢調査)

	与野西中学校区	全市平均
総人口	22,880人	
人口率		
0-14歳	2,934人 (13%)	(14%)
15-64歳	15,659人 (68%)	(67%)
65歳以上	4,287人 (19%)	(19%)
人口密度	10,204人/km ²	5,706人/km ²

人口割合は全市平均とほぼ等しい一方、**人口密度はやや高い。**

◆建物概況 (平成23年度さいたま市都市計画基礎調査)

	与野西中学校区	全市平均
総建物棟数	5,426棟	
木造(昭和46年以前)	1,059棟 (20%)	(17%)
木造(昭和47-55年)	639棟 (12%)	(12%)
木造(昭和56年以後)	2,288棟 (42%)	(45%)
非木造(昭和46年以前)	52棟 (1%)	(1%)
非木造(昭和47-55年)	121棟 (2%)	(3%)
非木造(昭和56年以後)	1,267棟 (23%)	(21%)

建物の割合は全市平均とほぼ同等である。

◆防災関連施設情報 (平成26年2月時点)

種別	名称
避難場所	与野西中学校、与野本町小学校、与野八幡小学校、県立与野高等学校、与野本町公民館、幹谷公民館
一時・広域避難場所	与野公園
市・区役所等窓口	中央区役所
消防署・出張所	中央消防署
警察署・交番	浦和西警察署
救急病院	
応急給水場所	与野西中学校、与野八幡小学校、中央区役所、与野中央公園、与野公園

◆被害想定結果からわかる防災上の主なポイント

【耐震化】多くの建物被害が想定されているため、**耐震化率の向上が必要。**
【火災】火災焼失の危険性が高い地区となっており、避難や初期消火体制等での**自主防災組織等、共助の活性化が必要。**
【避難】人口密度が高い地域のため、**円滑な避難誘導の実施が必要。**

05-04-1

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話し合ってみましょう。

さいたま市防災カルテ 与野西中学校区

②さいたま市直下地震の想定

震度分布図

液状化危険度分布図

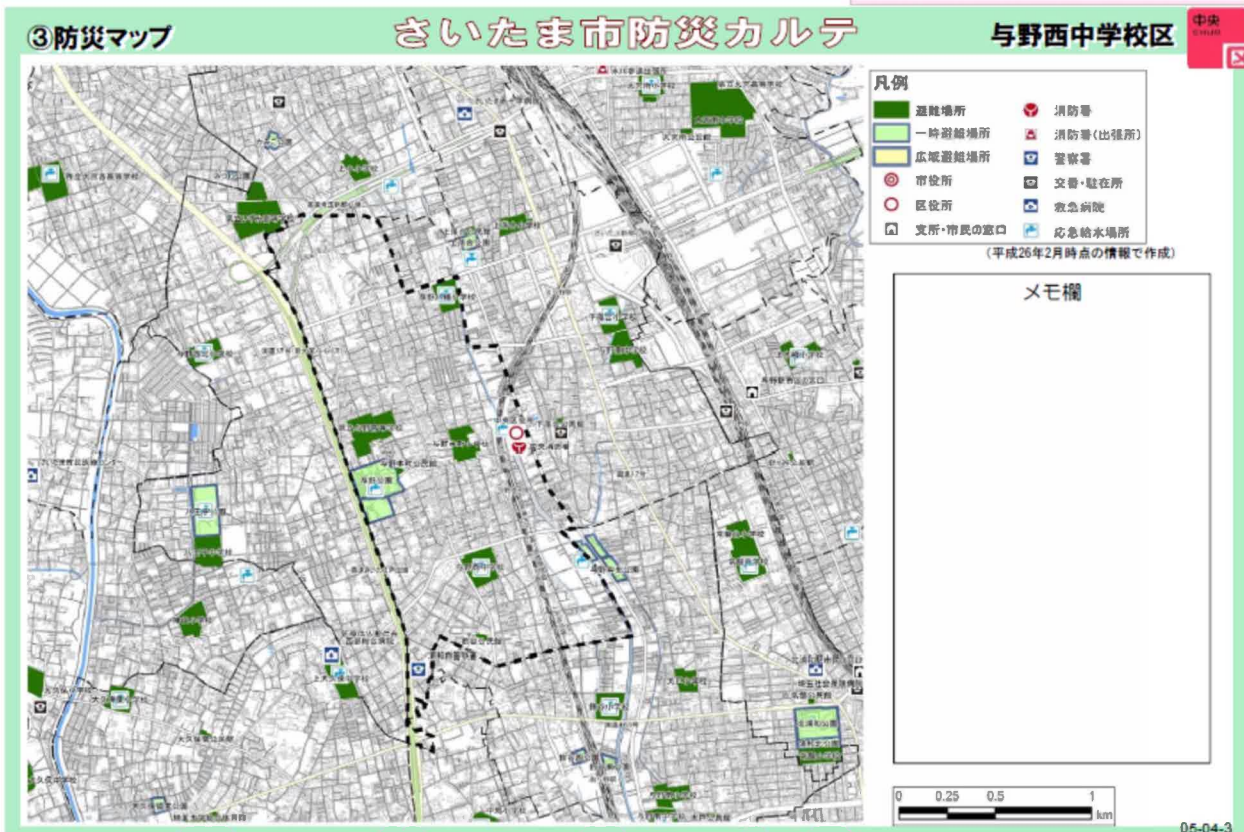
建物被害分布図 (揺れによる被害)

建物被害分布図 (火災延焼による被害)

(※分布図は50mメッシュ単位での表示となっています)

05-04-2

本カルテは一つの例であり、これを基に町域上のポイントや必要な対策について、家族や地域のの方々と話し合ってみましょう。



防災カルテ：中学校区版一覧

通し番号	区名	区ごとの番号	名称	通し番号	区名	区ごとの番号	名称
1	西区	(1)	指扇中学校区	35	桜区	(1)	田島中学校区
2	西区	(2)	宮前中学校区	36	桜区	(2)	土合中学校区
3	西区	(3)	土屋中学校区	37	桜区	(3)	上大久保中学校区
4	西区	(4)	大宮西中学校区	38	桜区	(4)	大久保中学校区
5	西区	(5)	馬宮中学校区	39	浦和区	(1)	大原中学校区
6	西区	(6)	植水中学校区	40	浦和区	(2)	木崎中学校区
7	北区	(1)	日進中学校区	41	浦和区	(3)	本太中学校区
8	北区	(2)	植竹中学校区	42	浦和区	(4)	常盤中学校区
9	北区	(3)	宮原中学校区	43	浦和区	(5)	白幡中学校区
10	北区	(4)	泰平中学校区	44	浦和区	(6)	岸中学校区
11	北区	(5)	土呂中学校区	45	浦和区	(7)	原山中学校区
12	北区	(6)	宮前中学校区	46	南区	(1)	白幡中学校区
13	北区	(7)	大宮北中学校区	47	南区	(2)	岸中学校区
14	大宮区	(1)	大宮中学校区	48	南区	(3)	大谷場中学校区
15	大宮区	(2)	三橋中学校区	49	南区	(4)	大谷口中学校区
16	大宮区	(3)	桜木中学校区	50	南区	(5)	南浦和中学校区
17	大宮区	(4)	大宮南中学校区	51	南区	(6)	内谷中学校区
18	大宮区	(5)	大宮東中学校区	52	南区	(7)	田島中学校区
19	大宮区	(6)	大宮北中学校区	53	緑区	(1)	美園中学校区
20	大宮区	(7)	第二東中学校区	54	緑区	(2)	原山中学校区
21	見沼区	(1)	大砂土中学校区	55	緑区	(3)	東浦和中学校区
22	見沼区	(2)	大宮八幡中学校区	56	緑区	(4)	三室中学校区
23	見沼区	(3)	春野中学校区	57	緑区	(5)	尾間木中学校区
24	見沼区	(4)	春里中学校区	58	緑区	(6)	木崎中学校区
25	見沼区	(5)	七里中学校区	59	岩槻区	(1)	慈恩寺中学校区
26	見沼区	(6)	大谷中学校区	60	岩槻区	(2)	桜山中学校区
27	見沼区	(7)	片柳中学校区	61	岩槻区	(3)	城北中学校区
28	見沼区	(8)	泰平中学校区	62	岩槻区	(4)	城南中学校区
29	見沼区	(9)	土呂中学校区	63	岩槻区	(5)	川通中学校区
30	見沼区	(10)	第二東中学校区	64	岩槻区	(6)	岩槻中学校区
31	中央区	(1)	与野東中学校区	65	岩槻区	(7)	柏陽中学校区
32	中央区	(2)	与野南中学校区	66	岩槻区	(8)	西原中学校区
33	中央区	(3)	八王子中学校区				
34	中央区	(4)	与野西中学校区				

* 複数区にまたがる中学校区はそれぞれの区へ掲載しています。
* 詳しくは本市ホームページ等を参照してください。